

避難所における再生可能エネルギー活用による電源の確保

三重県防災対策部が発表している理論上最大クラスの地震発生時に、地域住民及び生徒の避難指定場所で停電が長期化した場合に備えて非常用電源設備として太陽光発電及び蓄電池の装置を整備し避難所としての防災機能の強化を図ることを目的として平成29年3月に伊勢工業高等学校内に太陽光発電装置等を設置しました。

目的は 避難者にとって安全であることはもとより、安定的な電力供給を行うことで、最低限必要な生活を維持できる環境づくりを行うものです。

このことにより、避難所としての管理運営が円滑に行われ避難者の安心安全な生活を確保し、テレビ、パソコンでの情報収集や避難者の情報管理を行うことで被災者同士や避難施設間での情報交換を図ることができます。

なお、上記の工事は「三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業」を活用したものです。



太陽光パネル



制御盤